

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70065
事業名	里塚斎場整備費					
評価担当課	所 属	保)ウェルネス 施設管理課			電話番号	011-211-3518
施策名	公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	昭和59年度(1984年度)に供用を開始した里塚斎場は施設の老朽化や、火葬件数の増加に伴う構造上の不具合(①火葬棟と待合棟に向かう人の交錯、②待合ロビーの混雑、③収骨待ちの発生)が見られるようになっている。今後、本格的な多死社会を迎え、火葬件数がさらに増加すると、火葬需要を賄うことができなくなり、首都圏のように火葬まで何日も待たされる恐れがある。こうした課題の解決に向け、「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」(2022年3月策定)に沿って具体的な取組を進めている。
	事業内容(何を実施し)	里塚斎場整備手法検討業務(整備手法の選定に向けた調査の実施) 里塚斎場の再整備に当たっては、令和2年度に一度、再整備に係る調査を実施し、新里塚斎場を敷地外隣接地に建替える方向で進めていたが、令和3年11月1日開催の関係部長会議兼PPP／PFI活用委員会において、「諸条件が整えば一部建替等に対応できる可能性もある」との意見が付された。これを受け、引き続き建替えのほか増改築も含めて検討することとし、令和5年度には、令和2年度調査の報告結果を掘り下げて比較・検証する内容の調査を実施し、里塚斎場の再整備に係る基本方針(案)を作成した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	多死社会の到来に伴う火葬件数の増加に対応した火葬場運営を実現するため、里塚斎場の整備計画を策定する。
	他都市の状況	名古屋市が抱える2つの火葬場のうち八事(やごと)斎場については、1915年に供用を開始し、1970年に改築したが、老朽化に伴い、再整備に向けた基本計画を2021年度に策定し2028年度の供用開始を目指している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	17,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度決算額	16,906 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和6年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.5 人工

指標	アウトプット活動指標1					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1	里塚斎場の整備計画策定				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			検討・調査	検討・調査	周知・調整	都市計画決定	検討・調査
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度には、令和2年度調査の報告結果を掘り下げて比較・検証する内容の調査を実施し、里塚斎場の再整備に係る基本方針(案)を作成した。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	令和6年度の関係部長会議兼PPP／PFI活用委員会により、再整備に係る基本方針が決まり、整備計画の策定年度が令和7年度から9年度に変更となった。令和9年度の計画策定に向け、令和7年度に都市計画決定、令和7年度から8年度にかけてPPP／PFI導入可能性調査を実施予定。